



勝浦ロータリークラブ

51期 THE WEEKLY REPORTS

2013-2014年度

No. 24 / Total 2391

例会：2014. 01. 24

発行：2014. 01. 31

R | 会長 ロン D. バートン

第2790地区 ガバナー
関口 徳雄 (浦安)

第5分区 ガバナー補佐
川名 幸雄 (千倉)

第5分区 幹事
鈴木 健史 (千倉)

第2790地区
ロータリー財団委員会
補助金小委員会 委員長
関 一憲 (勝浦)

第2790地区
ロータリー財団委員会
資金推進小委員会 委員長
伊藤 正人 (鴨川)

勝浦ロータリークラブ
会 長 中村 昇
幹 事 小林 悠紀

クラブ会報委員会
委 員 長 渡邊 ヒロ子
副 委 員 長 関 一憲
委 員 手塚 明宏
渡邊 光一

◆報告内容

1月24日(金) ゲスト卓話

目代純平氏「ココが怖い！子どもの
ケータイ・スマホ」

◆本日の例会

1月31日(金) 会員卓話 神村彰男君

◆次回例会

2月7日(金) ゲスト卓話

菅原賢二氏 (東京ガス) 『コーチン
グ』

2月14日(金) 会員卓話 関一憲 君

◆会長挨拶 中村昇会長



ゴルフをキャンセルしたとも話しておりました。とにかく雪道に慣れていない私たちは特に要注意ですね。

ところで今日は将来を見据えた生活について話してみようと思います。

皆さんは、自分の10年後あるいは20年後の生活を想像したことがあるでしょうか。子供や孫に囲まれた幸せな生活を想像している方も多いのではないかと思います。しかし、残念なことに毎日新聞社の報道データによりますと、21年後の2035年には、全世帯に占めるひとり暮らしの方が37.2%に達すると国立人口問題研究所から発表されたと報道されました。

「日本の将来推計」で分かったことですが、結婚しない人や離婚する人が増加し、2010年の32.4%から4.8ポイント高まるそうです。

つまり100人のうち38人が一人暮らしを余儀なくされるということです。詳しく言えば実はもっと多くなるはずですが、妻帯者家庭でも子や孫がなく夫婦どちらかが欠けることもあるわけです。今後益々ひとり暮らしのお年寄りが増加し、介護や見回りの必要性が高まるのは必至で国や自治体には、社会的孤立を防ぐきめ細かな対応が一層求められそうです。

これらのデータから察するに25年後の勝浦市の人口は現在の約半数になることが予想されます。あくまでも推計ではありますが、将来を見据えどう対処していくかは、大きな社会問題化するでしょうし、今からそれぞれ各人が、各家庭毎に考えておく必要があるかと思います。皆さんが一人暮らしになった時はどうしますか。子供や孫に囲まれた幸せな老後が望めますか、夢の夢と化してしまう可能性があります。私は一つの策といたしまして地域の皆さんとの繋がりを大切にしていくことが大事ではないかと思います。いわば地域連帯、既に老老介護の様相を呈している今日でもありますが、一人暮らしのお年寄りによるコミュニティー作り、その場を中心にした運動や寝食等を共にする、死後は皆で同じ墓に入ることを決めておくなど、共同した生活の営みが出来るよう仕組み作りが急務であろうと思います。例えばAという老人には孫子もいない、身よりもいないが、Bさんには同居してまで面倒を見てはくれないが孫や子が犬を連れて遊びに来てくれる。こんな老人仲間の親族と一緒に我が孫子のように連帯意識が芽生えて生き

る喜びも分かち合えるのではないのでしょうか。可能性にチャレンジしてみよう。是非ともロータリークラブ会員の知恵と行動力でこの大事な仕組み造りに一石を投げようではありませんか。

◆委員会報告

◇米山記念奨学会委員会 西川佳璋 委員長



先週に続き寄付金を集めさせていただきます。17日に入れていただいた方も再度ご寄付いただいても構いません(笑)ので宜しくお願いします

◇ロータリー財団委員会 千葉正徳 委員長



今日から2回目のご寄付を戴きます。地区の希望で、計180ドル。この内会費で80ドル戴いてますので、あと100ドル。

寄付するだけでなく、ロータリー財団の支援をいただいて、中村満年度には、市の駐車場にベンチと樹木を置いて良い雰囲気作りをしたいと考えています。

◇国際奉仕委員会 牧野利美 担当理事



18日に、地区で国際奉仕委員長会議があり、委員長の代理で出席してきました。ロータリー財団と国際奉仕との深い関わりに

ついて知ることが出来ましたし、関一憲君が地区委員として、立派にわかりやすく説明してくれまして、勝浦RCとして誇りに感じました。また、ロータリー財団の地区の委員長である山田Pガバナーが、財団の補助金と支援活動について説明する中で、勝浦RCの福島への取組みを素晴らしいと高く評価してくださって、寄付するだけでなく、

会員が一丸となって、目標に向かって活動したということを出席者みんなの前でお話してくれて、私は本当に嬉しく思いました。この場を借りてご報告いたします。

◇中村満 会長エレクト



お蔭様で、次年度の組織図が出来上がりました。かなり無理言ってしまったところもありますが、理事、各委員長の了解もいただけ

て感謝しています。今後とも宜しくお願いいたします。

◆ニコニコBOX 親睦活動委員会 山本太郎 委員長

◇本人誕生日

関正巳 君



◇配偶者誕生日

牧野利美 君



◇自主申告 高梨薫敏 君



今年は6回目の年男で何か良い事ありそうと... 13日に東急で新年コンペがありました。大たたきしたのに運良く... 準優勝!

高梨沙羅ちゃんが活躍しています。34戦で17勝。おかげで高梨がメジャーになりました。オリンピックで金メダルを取ってくれることを期待しています。

◇自主申告 齋藤麻美子 君



牧野担当理事に委員長会議をお願いし、私は結婚式で三重に行ってきました。隣にロータリークラブの方がいらして、すっかり結婚式そっちのけで

ロータリークラブについてお話しして盛り上がりました。あらためてロータリークラブの会員であることに感謝いたしました。

◆ゲスト卓話 目代純平氏（東京紀尾井町 RC）



「ココが怖い！子どものケータイ・スマホ」 ～巧妙化するネット犯罪から子どもを守るために～

前回に引き続きお招きいただきありがとうございます。前回全般的なインターネットや携帯電話がもたらす環境の変化やそれらが子どもたちにどのような影響を与えているか、あるいは、どのような事件が起こっているかなどを中心にお話させていただきましたが、今回はその続編ということで、前回のおさらいから始めて、昨今急激に普及しているスマートフォンの状況、そして、それらが子どもたちに与える影響についてお話をさせていただきたいと思います。

相変わらず子どもたちに対する携帯・スマートフォンの普及率は向上していますが、その舞台がスマートフォン優勢になるに伴って、トラブルの種類も少し変化しています。スマートフォンは本当にいろいろな機能があり、アプリと呼ばれるソフトを追加することによりさらに様々な使い方ができます。

それゆえについつい使いすぎてしまうのは子どもたちのみならず大人でも一緒です。そしてそのような状況続くと依存症のような状態になり、一時も手放せなくなる人が増えています。

特に子どもたちは免疫がないので依存症になってくると勉強やその他のこととのけじめがつかずに夜中までスマートフォンを触っていて昼間学校で居眠りをしたり授業に集中できなかつたりといった弊害が出ることも増えています。

さらに、このようなスマートフォンのアプリはまだ発展途上でセキュリティに関しても完全とは言えません。

そのため、使用にはより注意しなければなりませんし、正しい使い方をしなければとても危険な状況もあります。

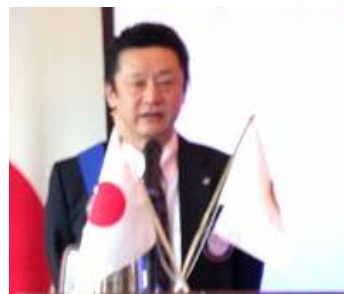
また、最近若者を中心にケータイ料金を支払えなくて滞納する例が増えていますが、スマートフォンは分割払いで購入していることが多いため、同様のことをすると、金融機関のいわゆるブラックリストに載ってしまふこととなります。このような状況で滞納をした人は2013年8月時点で249万人にもものぼり、これは前年に比べ100万人以上も増えているという異常な状況になっています。一度ブラックリストに名前が載ってしまうと、完済後5年間は消えませんので、その後のカードの作成ができない、ローンが組めないなどの状況になる可能性が高く、軽はずみな滞納がその後の人生に大きな影響を与える事となります。

その他、LINE やツイッターなどの不適切な使用によってトラブルになるケースも増えています。個人が記事や写真の投稿を気軽にできる時代になった故、軽い気持ちで行ってしまったことが自分の人生に取り返しのつかない影響を与えてしまうことが少なくありません。インターネットはとても多くの人が使っているメディアである故、使い方を一歩間違えると非常に大きな影響があるばかりか、自分が加害者になることもよくあります。

これからもこのような事例を見極め、自分ならびに他人に被害を与えないよう、正しい使い方をしていくことが非常に大切です。

（目代様、貴重なお話をありがとうございました）

◆出席報告 1月24日（金）手塚明宏委員長



会員数	38名
出席者数	28名
MU数	5名
欠席者数	5名
出席率	86.84%